

## 第9節 動物

事業実施区域及びその周辺では、文献等により重要な動物等が確認されており、工事の実施（建設機械の稼働、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置）及び土地又は工作物の存在及び供用（道路の存在、自動車の走行）による重要な動物及び注目すべき生息地への影響が考えられるため、調査、予測及び評価を行った。

### 9.1 調査

#### (1) 調査の手法

##### ① 調査した情報

##### a) 動物相の状況

動物相（哺乳類、鳥類（一般鳥類・猛禽類）、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、クモ類、陸産貝類、底生動物）の状況を調査した。

##### b) 重要な種等の状況

重要な種等の状況（生態、分布、生息の状況及び生息環境）を調査した。

##### ② 調査手法

調査は、既存資料調査及び現地調査により行った。

既存資料調査は、重要な種等の状況について、情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

現地調査は、表8-9-1に示すとおり、個体や痕跡等の目視や鳴き声の聞き取り、必要に応じ個体の採集による方法により行った。なお、重要な種が確認された場合は、必要に応じて、その分布や生息の状況を把握するなど、種に応じた調査手法を選定した。

表8-9-1 (1) 現地調査方法

項目	調査方法	調査方法の解説
哺乳類	目撃・フィールドサイン法	調査地域に設定したルート上を踏査し、フィールドサイン（足跡、糞、食痕等）や個体の確認を行い、確認位置を記録した。
	トラップによる捕獲	調査区域内にシャーマントラップ（ネズミ類を対象とした生け捕り型のトラップ）、モールトラップ（モグラ類を対象としたトラップ）を設置し、捕獲した生息個体を確認・記録した。 モールトラップは、モグラ類の痕跡や塚・坑道などを確認した場合に設置した。
	自動撮影装置	けもの道など哺乳類の移動が予想される地点に自動撮影装置（赤外線センサーとシャッターを連動させ、カメラの前を通過する個体を自動的に撮影する装置）を設置し、哺乳類の通過状況を確認した。
	コウモリ類調査	調査地域に設定したルート上を夜間に踏査し、バットディテクター（コウモリの発する超音波を可聴音に変換する装置）により、コウモリ類の生息状況を確認した。
鳥類 (一般鳥類)	直接観察法	調査地域に設定したルート上を踏査し、目視や鳴き声で確認された種を記録した。
	ラインセンサス法	調査地域に設定したルート（資料編参照）上をゆっくりとした速度で歩きながら、双眼鏡を用いてルートの左右約25mの範囲内で確認された鳥類の種名、個体数、環境などを記録した。 調査ルートは、調査範囲内にみられる主要な環境区分（樹林、耕作地、河川等）を網羅し、全域を均一に確認できるよう選定した。
	定点観察法	調査定点（資料編参照）周辺に出現した鳥類の種名、個体数などを記録した。 調査定点は、調査範囲内にみられる主要な環境区分（樹林、耕作地、河川等）ごとに、出現種を確認できるよう選定した。
鳥類 (猛禽類)	定点観察法 (行動圏調査)	調査定点において、双眼鏡（8～10倍程度）や望遠鏡（20～60倍程度）を用いて猛禽類（トビを除くタカ類・ハヤブサ類）の確認に努めた。猛禽類が確認された場合、無線機を用いて各地点との相互連絡により、可能な限りその個体を追跡し、確認個体について種名、行動内容、飛行経路等を記録した。
	繁殖状況調査	定点観察の結果、繁殖が確認された営巣木を対象として、周辺からの直接観察やハンディビデオカメラ等による記録によって、繁殖状況を確認した。
爬虫類	直接観察法	調査地域に設定したルート上を踏査し、爬虫類の成体、幼体等のほか、死体や脱皮殻等により生息種の確認に努めた。個体を確認した場合は、確認位置及び種名、個体数などを記録した。
両生類	直接観察法	調査地域に設定したルート上を踏査し、両生類の成体、幼体、幼生、卵塊等のほか、鳴き声等により生息種の確認に努めた。個体を確認した場合は、確認位置及び種名、個体数などを記録した。
魚類	直接観察法・ 任意採集法	調査地域内の水域において、投網、タモ網、セルビン、カゴ網、小型定置網及び刺網を用いて魚類を捕獲し、種類及び個体数を記録した。また、捕獲中に目視により確認した種についても記録した。

表8-9-1 (2) 現地調査方法

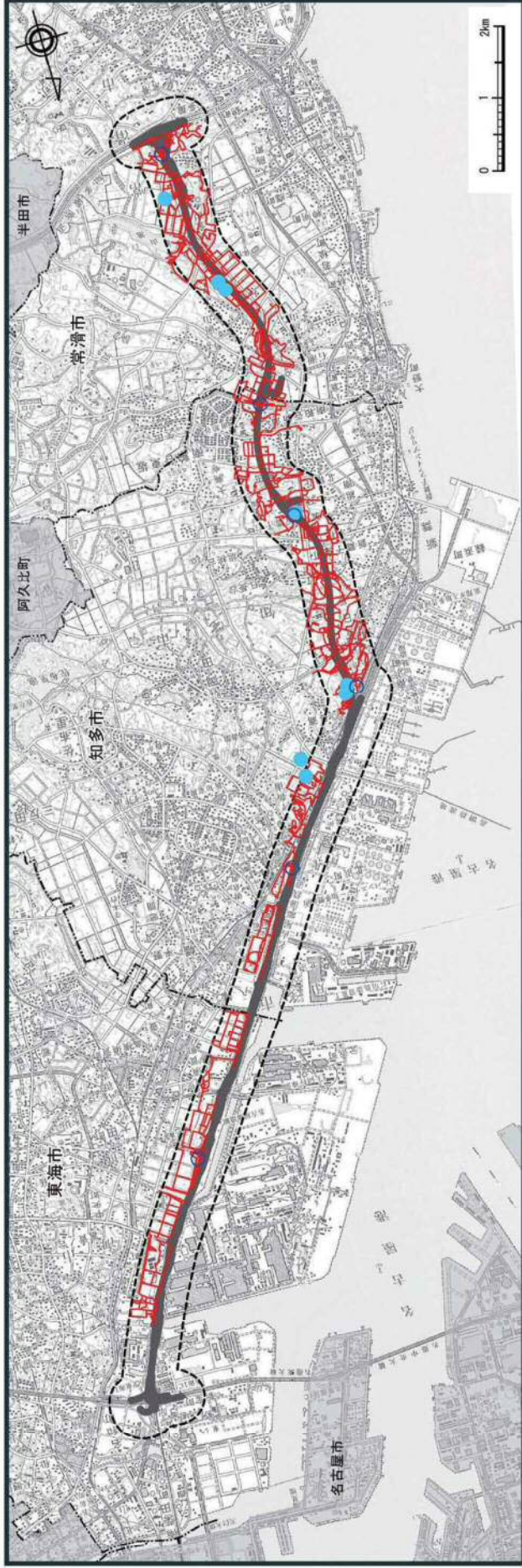
項目	調査方法	調査方法の解説
昆虫類	直接観察法・ 任意採集法	調査地域に設定したルート上を踏査し、ルート周辺に生息する昆虫類を以下の方法により調査した。 ○目撃法 チョウ類、トンボ類、セミ類、バッタ類等の大型種や鳴き声による識別が確実な種について記録した。 ○見つけ採り法 踏査中に確認した昆虫類を直接捕虫網等により採集した。 ○石おこし採集法 石をおこして、そこに生息している昆虫類を採集した。 ○スウィーピング法 草本群落や低木等をなぎ払うように捕虫網を振り、中に入った昆虫類を採集した。 ○ビーティング法 木本や背の高い草本群落において樹枝や葉を棒で叩き、昆虫類を落下させて採集した。 ○ホタル類調査 調査地域の河川、水田などホタル類の生息に適した環境を中心に夜間踏査を行った。
	ライトトラップ法	調査地域内の環境（樹林、耕作地、河川等）を代表する地点を選定し、光源（蛍光灯、ブラックライト）に誘引されて集まる昆虫類を捕獲した。 ○カーテン法 耕作地など開放的な空間において、白い布を張り、その前に光源を設置し、集まる昆虫類を2時間程度採集した。 ○ボックス法 樹林地など閉鎖的な空間において、光源の下にロート部と昆虫類収納用ボックス部からなる捕虫器を夕方に設置し、翌朝、ボックス部に落ち込んだ昆虫類を回収した。
	ベイトトラップ法	調査地域内の環境（樹林、耕作地、河川等）を代表する地点を選定し、誘因餌を入れたプラスチックコップを口が地表面と同じ高さになるよう埋設し、1晩設置した後、誘引されてコップ内に落下した昆虫類を採集した。
クモ類	直接観察法・任意採集法	調査地域に設定したルート上を踏査し、樹上、地表など生息に適した環境に留意しながら、個体の捕獲等により生息種の確認を行った。
陸産貝類	直接観察法・任意採集法	調査地域に設定したルート上を踏査し、樹林の下に積もった落ち葉の層や、草地内など、主要な生息環境において陸産貝類を探し、目視確認及び採集により、種を記録した。
底生動物	直接観察法・任意採集法	調査地域内の水域において、サーバーネット、タモ網、エクマン・バージ型採泥器等を用いた任意採集を行った。
	定量採集法	調査地域内の水域において、方形枠（コドラート）を設定し、河川ではサーバーネット、池ではエクマン・バージ式採泥器を用いて、底生動物が含まれる砂礫・泥などのサンプルを採集した。採集したサンプルは持ち帰り、種の同定等を行った。

### ③ 調査地域及び調査地点

調査地域は、事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、猛禽類は同2km程度の範囲を基本とするなど、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

調査地点は、図8-9-1に示すとおり、調査地域に生息する可能性のある動物の生態等を踏まえ、重要な種の生息環境及び注目すべき生息地に係る予測評価に必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路を設定した。

なお、鳥類調査のうち猛禽類調査については、重要な種の保全の観点から、調査定点位置図は示していない。

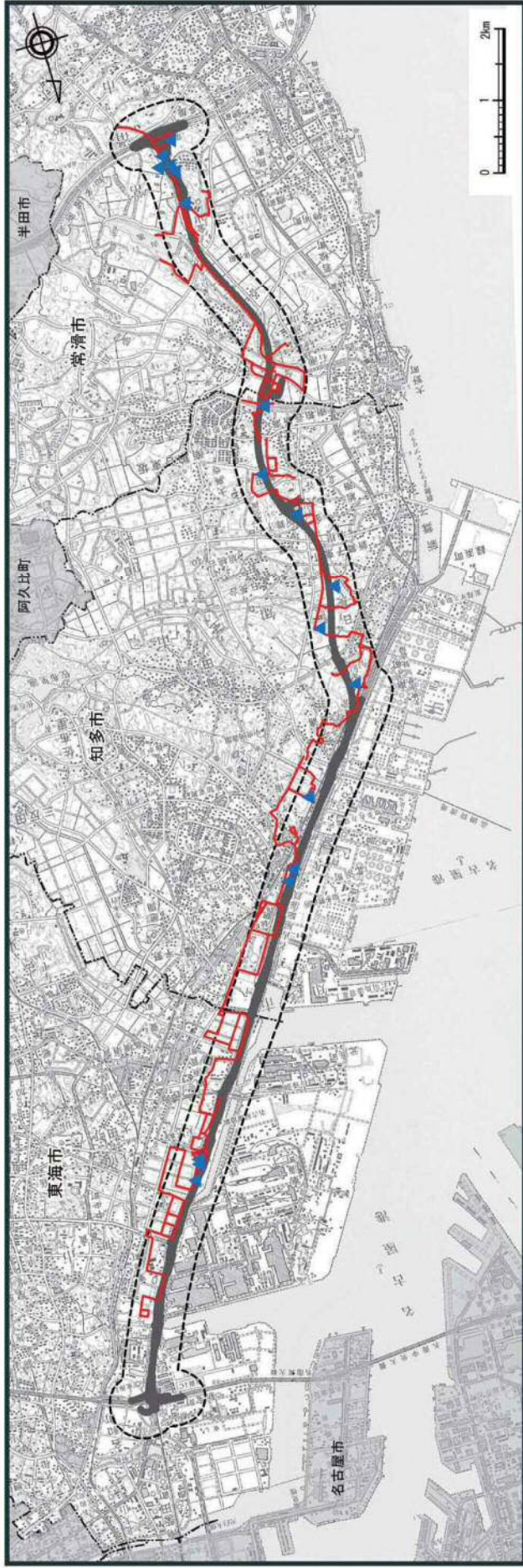


凡例	
記号	名称
(---)	調査地域
—	目撃・フィールドサイン法 調査ルート
○	シャーマントラップ調査地点
●	モールドラップ調査地点

備考)現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - -	行政界

図8-9-1 (1) 哺乳類現地調査位置図

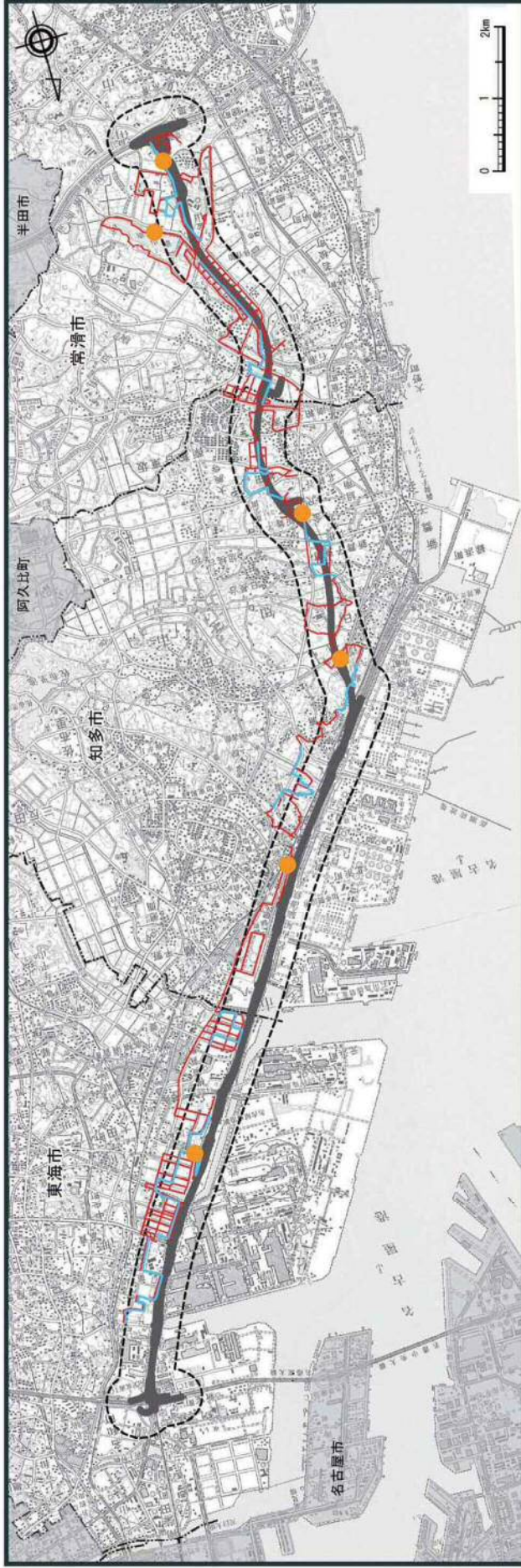


記号	凡例	名称
(---)		調査地域
—		コウモリ類調査ルート
▲		自動撮影装置調査地点

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - - -	行政界

図8-9-1 (2) 哺乳類現地調査位置図

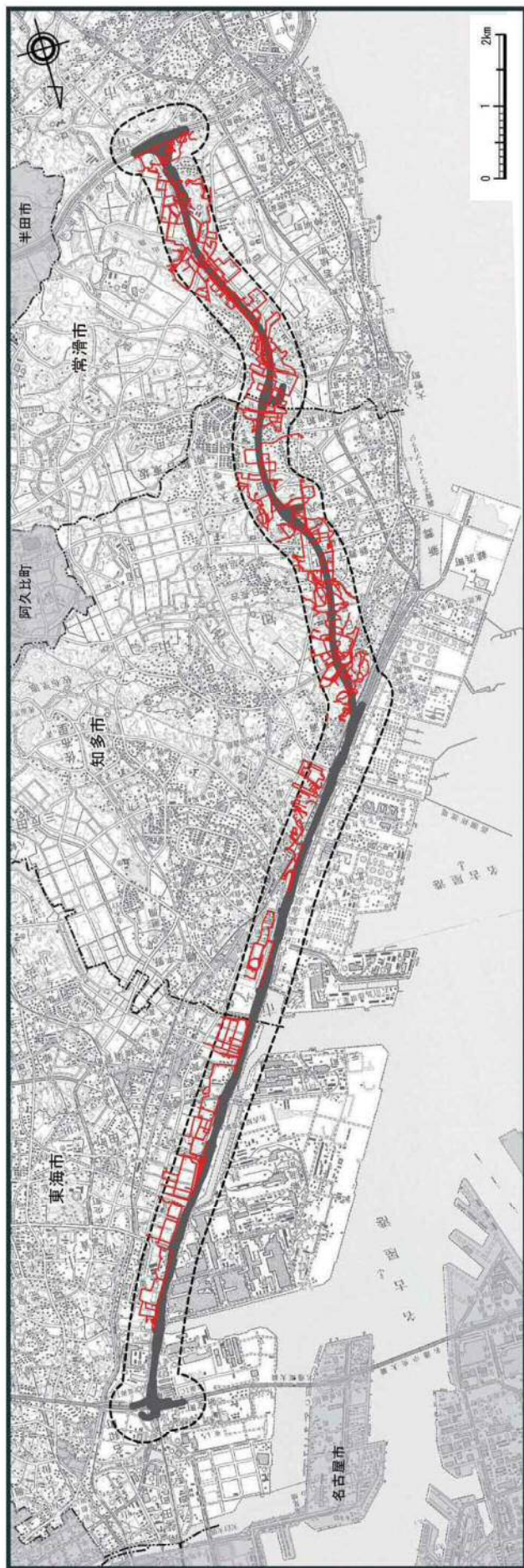


凡例	
記号	名称
	調査地域
	直接観察法 調査ルート
	ラインセンサス法 調査ルート
	定点調査地点

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

図8-9-1 (3) 一般鳥類現地調査位置図



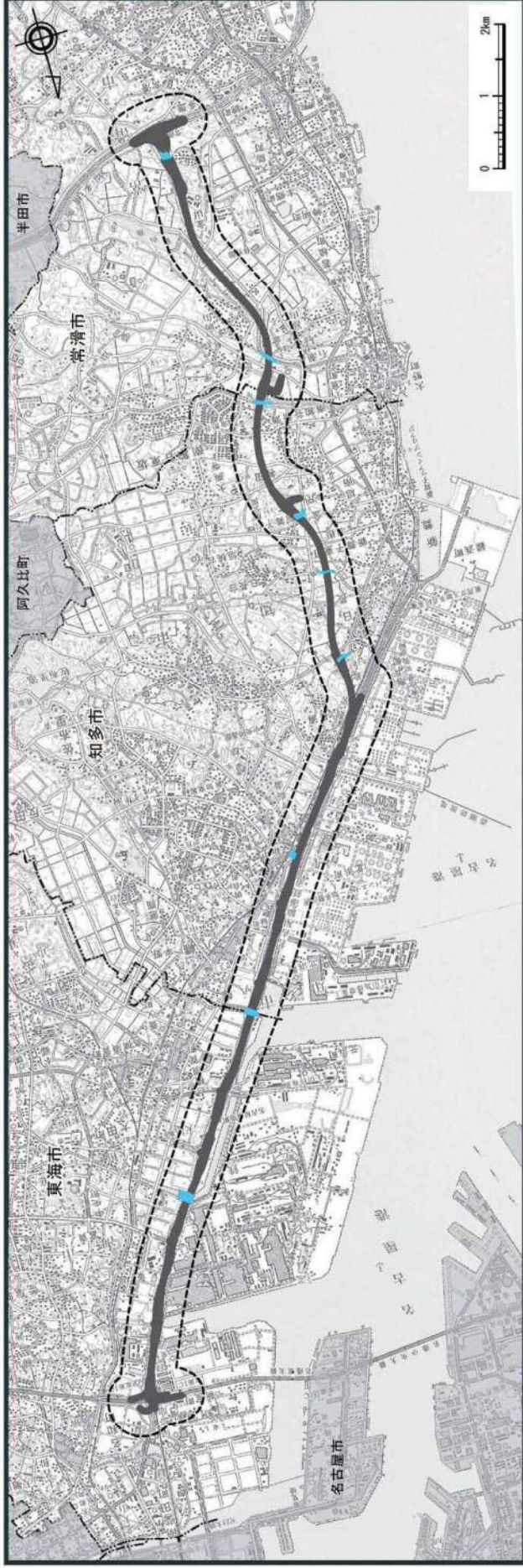
凡例	
記号	名称
(虚線)	調査地域
—	直接観察法 調査ルート

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - -	行政界

図8-9-1 (4) 爬虫類・両生類現地調査位置図



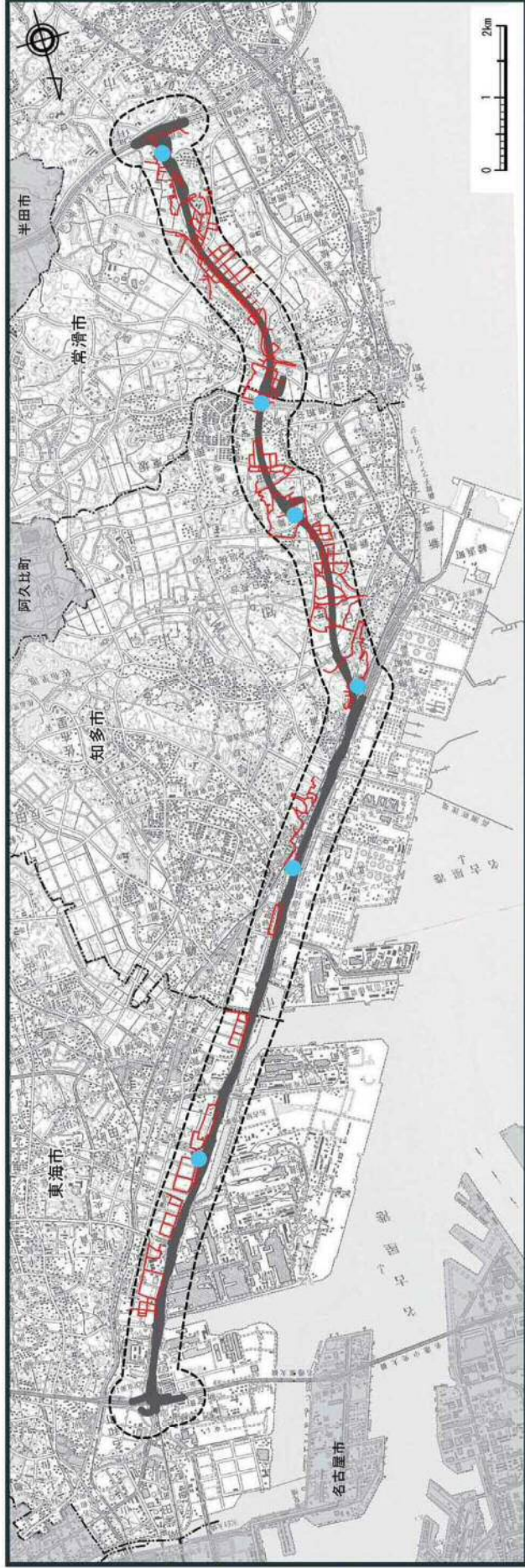


凡例		名称
記号		
	調査地域	
	調査地点	

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

図8-9-1 (5) 魚類・底生動物調査位置図

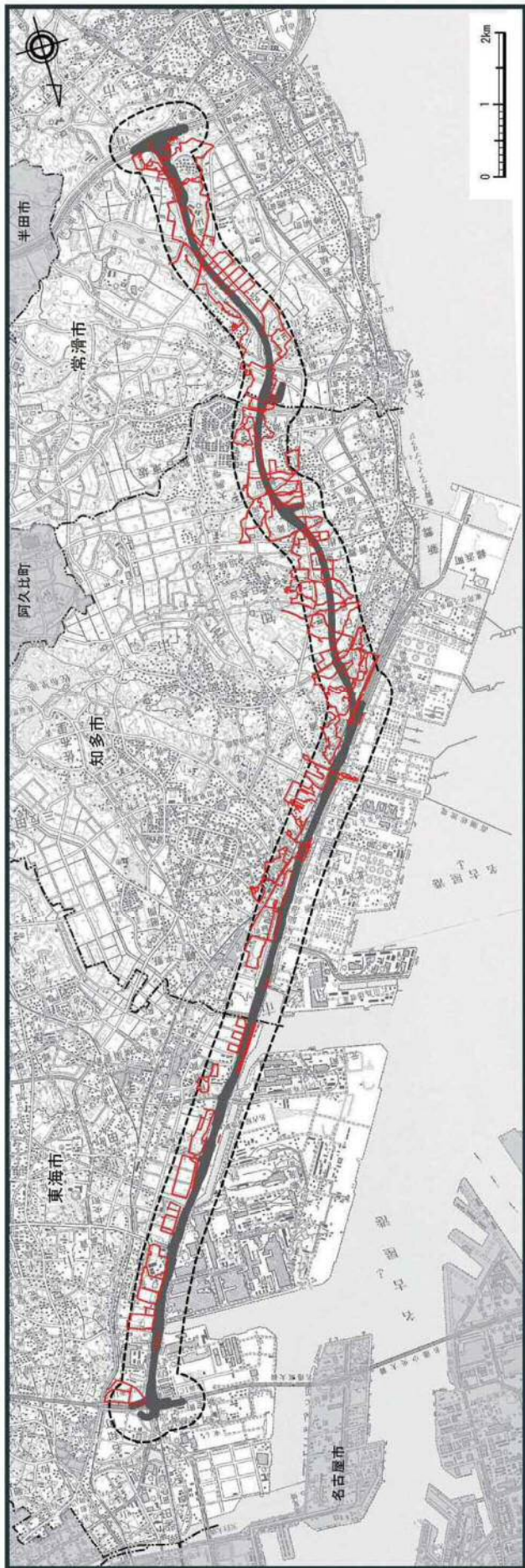


凡例	
記号	名称
	調査地域
	直接観察法・任意採集法 調査ルート
	ライトトラップ法・ペイトトラップ法 調査地点

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
記号	名称
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

図8-9-1 (6) 昆虫類・クモ類現地調査位置図



凡例	
記号	名称
	調査地域
	直接観察法・任意採集法 調査ルート

備考) 現地調査の調査地域は、方法書時点の事業実施区域内及びその端部から250m程度の範囲を目安とし、動物種の生態に応じて適宜範囲を拡大した。

凡例	
記号	名称
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界

図8-9-1 (7) 陸産員現地調査位置図

## ④ 調査期間等

既存資料調査は、入手可能な最新資料とした。

現地調査は、表8-9-2に示すとおり、動物が活発に行動する季節や生態的な特性を踏まえ、生息状況が的確に把握できる時期とした。

表8-9-2(1) 現地調査期間

項目	調査方法	季節	調査実施日
哺乳類	目撃・ フィールドサイン法 トラップによる捕獲	冬季	平成23年2月8日～10日
		春季	平成23年5月16日～19日
		夏季	平成23年7月11日～13日
		秋季	平成23年10月11日～14日
	自動撮影装置	春季	平成23年5月16日～18日
		秋季	平成23年10月11日～14日
	コウモリ類調査	春季	平成23年5月17日～18日
		夏季	平成23年7月13日～14日
		秋季	平成23年10月11日
鳥類 (一般鳥類)	直接観察法 ラインセンサス法 定点観察法	冬季	平成23年2月8日～10日
		春季	平成23年5月17日～19日
		繁殖期	平成23年6月8日～10日
		夏季	平成23年7月12日～14日
		秋季	平成23年10月12日～14日
鳥類 (猛禽類)	定点観察法 (行動圏調査)	2営巣期	<ア・ウ・エ地域：第1営巣期> 平成21年3月16日～18日、4月23日～25日、 5月26日～28日、6月22日～24日、 7月22日～24日、8月 5日～ 7日 <ア・ウ・エ地域：第2営巣期、イ地域：第1営巣期> 平成21年12月21日～23日、 平成22年 1月18日～20日、2月15日～17日、 3月 8日～10日、4月12日～14日、 5月10日～12日、6月 7日～ 9日、 7月12日～14日、8月 2日～ 5日 <イ地域：第2営巣期> 平成23年1月19日～21日、2月16日～18日、 3月 9日～11日、4月21日～23日、 5月17日～19日、6月14日～16日、 7月 6日～ 8日、8月 3日～ 5日
		繁殖期	平成23年2月 8日～10日、16日、3月9日～10日、 4月21日～23日、5月17日～19日、 6月14日～16日、7月 6日～ 8日、8月 3日～ 5日、 平成24年1月18日～19日、2月15日～17日、3月12日～14日、 5月29日～31日、7月15日～16日、22日

表8-9-2(2) 現地調査期間

項目	調査方法	季節	調査実施日
爬虫類	直接観察法	春季	平成23年5月16日～19日
		夏季	平成23年7月5日～7日
		秋季	平成23年10月11日～14日
両生類	直接観察法	早春季	平成23年3月8日
		春季	平成23年5月16日～19日
		夏季	平成23年7月5日～7日
		秋季	平成23年10月11日～14日
魚類	直接観察法・任意採集法	夏季	平成23年7月26日～29日
		秋季	平成23年10月11日～14日
昆虫類	直接観察法・任意採集法 ライトトラップ法 ベイトトラップ法	春季	平成23年5月16日～20日
		夏季	平成23年6月21日～22日（ホタル類） 平成23年7月25日～28日
		秋季	平成23年10月11日～14日
クモ類	直接観察法・任意採集法	春季	平成23年5月17日～20日
		夏季	平成23年7月25日～28日
		秋季	平成23年10月11日～14日
陸産貝類	直接観察法・任意採集法	春季	平成23年5月16日～19日
		夏季	平成23年7月11日～14日
		秋季	平成23年11月14日～17日
底生動物	直接観察法・任意採集法 定量採集法	冬季	平成23年1月18日～19日
		早春季	平成23年3月3日～4日
		春季	平成23年6月6日～8日

## (2) 調査結果

## ① 既存資料調査結果

既存資料による重要な動物及び注目すべき生息地は、「第4章第1節1.5動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況」に示すとおりである。

## ② 現地調査結果

## a) 動物相の状況

## ア. 動物相の状況

現地調査の結果、調査地域において確認された動物相の状況は、表8-9-3に示すとおりである。

表8-9-3 調査地域の動物相

項目	目数	科数	種数
哺乳類	5	7	12
鳥類	14	32	105
爬虫類	2	6	11
両生類	1	2	7
魚類	9	17	43
昆虫類	16	192	783
クモ類	1	15	78
陸産貝類	2	10	24
底生動物	37	94	175

## イ. 哺乳類

現地調査の結果、表8-9-4に示すとおり、5目7科12種の哺乳類が確認された。

表8-9-4 哺乳類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					春	夏	秋	冬
1	モグラ	モグラ	コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>	○			
—			モグラ科の一種	<i>Talpidae sp.</i>	○	○	○	○
2	コウモリ	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	○	○	○	
3			ヒナコウモリ科の一種 <sup>注1)</sup>	<i>Vespertilionidae sp.</i>			○	
4	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>		○		
5	ネズミ	ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	○	○	○	
6			カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	○	○	○	
7			ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	○			
8		ヌートリア	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	○	○	○	○
9	ネコ	イヌ	ホンダタヌキ	<i>Nyctereutes procyonides viverrinus</i>	○	○	○	○
10			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>			○	
11		イタチ	テン	<i>Martes melampus</i>			○	
12			ホンDOIタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>	○		○	○
—			イタチ属の一種	<i>Mustela sp.</i>	○	○	○	○
合計	5目	7科	12種 <sup>注2)</sup>		8種	6種	9種	3種

備考) 種名と分類は「日本産野生生物目録 脊椎動物編」(1993年、環境庁)に準拠した。

注1) バットディテクター調査により、アブラコウモリとは異なる種と判別されたため、ヒナコウモリ科の一種とした。

2) 「～属の一種」及び「～科の一種」のうち、同属及び同科が確認されている場合は、種数に含んでいない。

## ウ. 鳥類

現地調査の結果、表8-9-5に示すとおり、14目32科105種の鳥類が確認された。

表8-9-5(1) 鳥類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期							
					冬	春	繁殖期	夏	秋	猛禽類 調査 <sup>注1)</sup>		
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	○	○	○	○	○	○		
2	ペリカン	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○	○	○		
3	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>			○					
4			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	○			○	○	○		
5			ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>		○	○	○	○			
6			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>			○	○		○		
7			ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	○	○	○	○	○	○		
8			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>		○	○	○	○	○		
9			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	○	○		
10			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	○	○	○	○		
11			カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>						○
12					オシドリ	<i>Aix galericulata</i>					○	
13	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>			○	○			○	○		
14	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>			○	○	○	○	○	○		
15	コガモ	<i>Anas crecca</i>			○	○		○	○	○		
16	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>			○							
17	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>			○							
18	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>			○				○	○		
19	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>			○				○	○		
20	ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>			○					○		
21	ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>			○				○	○		
22	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>			○				○	○		
23	ミコアイサ	<i>Mergus albellus</i>									○	
24	タカ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	○			○	○	○		
25			ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>		○	○		○	○		
26			トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○	○			○		
27			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	○		○		○	○		
28			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>						○		
29			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	○	○				○		
30			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	○				○	○		
31			サシバ	<i>Butastur indicus</i>						○		
32			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>						○		



表8-9-5(2) 鳥類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					
					冬	春	繁殖期	夏	秋	猛禽類調査 <sup>注1)</sup>
33	タカ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>						○
34			コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>						○
35			チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	○				○	○
36	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○	○	○	○	○	○
37	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	○					
38			ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>		○	○		○	○
39			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	○	○	○		○	○
40			オオバン	<i>Fulica atra</i>						○
41	チドリ	タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>					○	
42		チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>		○	○	○	○	○
43			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○				○	
44			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	○	○	○	○	○	○
45		シギ	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>					○	
46			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	○	○			○	
47			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>					○	
48			キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>		○				
49			イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	○	○		○	○	
50			チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>		○				
51			ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	○					
52			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	○				○	
53		カモメ	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	○					
54			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>						○
55			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>		○	○	○		○
56	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	○	○	○
57	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>			○			
58	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>	○					
59	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○	○	○	○	○
60	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	○					
61			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○	○	○	○	○	○
62	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○	○	○	○
63		ツバメ	ツバメ	<i>Iirundo rustica</i>		○	○	○	○	○
64			イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>		○	○	○		○
65		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	○				○	○
66			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	○	○	○	○	○	○
67			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○	○	○	○	○	○
68			タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>	○				○	○
69		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	○	○	○
70		モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	○	○	○
71		ツグミ		ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	○				
72	ジョウビタキ			<i>Phoenicurus auroreus</i>	○					○

表8-9-5(3) 鳥類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					
					冬	春	繁殖期	夏	秋	猛禽類調査 <sup>注1)</sup>
73	スズメ	ツグミ	ノビタキ	<i>Saxicola torquata</i>					○	
74			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>					○	
75			トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	○					
76			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>					○	
77			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	○					○
78			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	○					○
79			ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>			○		
80		ウグイス		<i>Cotia diphone</i>	○	○	○	○	○	○
81		オオヨシキリ		<i>Acrocephalus arundinaceus</i>		○	○	○		○
82		メボソムシクイ		<i>Phylloscopus borealis</i>						○
83		セッカ		<i>Cisticola juncidis</i>	○	○	○	○	○	○
84		ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>		○	○	○		
85		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Parus varius</i>	○	○			○	○
86			シジュウカラ	<i>Parus major</i>	○	○	○	○	○	○
87		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○	○	○
88		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza coides</i>	○	○	○	○	○	○
89			ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	○					
90			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	○					○
91			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	○					○
92		アトリ	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	○	○	○	○	○	○
93			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	○					○
94			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>					○	
95			イカル	<i>Eophona personata</i>			○			○
96			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	○					
97		ハタオリドリ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○	○	○	○
98		ムクドリ	コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>					○	
99			ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	○	○	○	○	○	○
100		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	○				○	○
101	ハシボソガラス		<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○	○	○	
102	ハシブトガラス		<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	○	○	
103	(外来種) <sup>注2)</sup>	(キジ)	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracica</i>	○	○	○	○	○	
104		(ハト)	ドバト	<i>Columba livia</i>	○	○	○	○	○	
105	(家禽) <sup>注2)</sup>	(カモ)	アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>	○				○	
合計	14目	32科	105種		69種	48種	46種	41種	64種	73種

備考) 種名と分類は「日本産鳥類目録 改訂第6版」(2000年、日本鳥学会)に準拠した。

注1) 猛禽類調査時における確認状況は、タカ科は平成21年～平成24年、その他の鳥類は平成23年～平成24年の調査による。

2) 外来種及び家禽は目数及び科数に含まない。

## エ. 爬虫類

現地調査の結果、表8-9-6に示すとおり、2目6科11種の爬虫類が確認された。

表8-9-6 爬虫類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					早春 <sup>注)</sup>	春	夏	秋
1	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>		○	○	
2			アカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	○	○	○	○
3			イシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	○	○	○	○
4	トカゲ	ヤモリ	ヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>		○	○	○
5		トカゲ	ニホントカゲ	<i>Eumeces latiscutatus</i>			○	
6		カナヘビ	カナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>		○	○	○
7		ヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	○			○
8			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>			○	○
9			ヒバカリ	<i>Amphiesma vibakari</i>			○	○
10			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i>				○
11		クサリヘビ	マムシ	<i>Agkistrodon blomhoffii</i>		○	○	○
合計	2目	6科	11種		3種	6種	9種	9種

備考) 種名と分類は「日本産野生生物目録 脊椎動物編」(1993年、環境庁)に準拠した。

注) 早春は、両生類の早春季調査における確認である。

## オ. 両生類

現地調査の結果、表8-9-7に示すとおり、1目2科7種の両生類が確認された。

表8-9-7 両生類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期			
					早春	春	夏	秋
1	カエル	アマガエル	アマガエル	<i>Hyla japonica</i>	○	○	○	○
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	○			
3			トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>		○	○	○
4			ナゴヤダルマガエル	<i>Rana porosa brevipoda</i>		○	○	○
5			ヌマガエル	<i>Rana limnocharis</i>		○	○	○
6			ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>		○	○	○
7			ツチガエル	<i>Rana rugosa</i>	○			
合計	1目	2科	7種		3種	5種	5種	5種

備考) 種名と分類は「日本産野生生物目録 脊椎動物編」(1993年、環境庁)に準拠した。

## カ. 魚類

現地調査の結果、表8-9-8に示すとおり、9目17科43種の魚類が確認された。

表8-9-8 (1) 魚類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				
					冬 <sup>注1)</sup>	早春 <sup>注1)</sup>	夏	秋	
1	ウナギ	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	○	○	○	○	
2	ニシン	ニシン	サッパ	<i>Sardinella zunasi</i>			○		
3	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>			○	○	
4			ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorffii</i>			○		
—			フナ属の一種	<i>Carassius sp.</i>		○	○		
5			オイカワ	<i>Zacco platypus</i>				○	
6			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>		○	○	○	
7			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>				○	○
8			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	○		○	○	
9			コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis subsp.</i>			○	○	
11			ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>		○	○	
10			ナマズ	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>		○	
12	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>			○	○	
13	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	○	○	○	○	
14	ダツ	メダカ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	○	○	○	○	
15	ヨウジウオ	ヨウジウオ	ガンテンイシヨウジ	<i>Hippichthys penicillus</i>				○	
16	スズキ	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>			○	○	
17		シマイサキ	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>				○	
18			シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrhynchus</i>				○	
19		サンフィッシュ	オオクチバス (ブラックバス)	<i>Micropterus salmoides</i>			○	○	
20		ヒイラギ	ヒイラギ	<i>Nuchequula nuchalis</i>				○	
21		タイ	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>				○	
22		ボラ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>			○	○	
23			セスジボラ	<i>Chelon affinis</i>				○	
24			メナダ	<i>Chelon haematocheilus</i>			○	○	
25		ハゼ	トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i>	○	○	○	○	
26	ミミズハゼ		<i>Luciogobius guttatus</i>			○			

表8-9-8 (2) 魚類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期				
					冬 <sup>注1)</sup>	早春 <sup>注1)</sup>	夏	秋	
27	スズキ	ハゼ	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	○		○	○	
28			ピリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>			○	○	
29			クロヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. DA	○				
30			ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>		○	○	○	
31			マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>			○	○	
32			アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>		○	○		
33			マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>	○	○	○	○	
34			ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>			○		
35			アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>		○	○	○	
36			キララハゼ属の一種	<i>Acentrogobius</i> sp.				○	
37			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius giurinus</i>		○	○	○	
38			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.CB		○		○	
39			トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.OR				○	
—			ヨシノボリ属の一種	<i>Rhinogobius</i> sp.				○	
40			シモフリシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>			○	○	
41			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	○	○	○	○	
42			チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			○	○	
—			チチブ属の一種	<i>Tridentiger</i> sp.			○	○	
43			タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>		○	○	○
合計			9目	17科	43種 <sup>注2)</sup>		9種	15種	31種

備考) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(2010年、国土交通省)に準拠した。

注1) 冬及び早春は、底生動物の冬季及び早春調査における確認である。

2) 「～属の一種」及び「～科の一種」のうち、同属及び同科が確認されている場合は、種数に含んでいない。

## キ. 昆虫類

現地調査の結果、表8-9-9に示すとおり、16目192科783種の昆虫類が確認された（底生動物調査においてのみ確認された昆虫類は除く。確認種一覧は資料編参照）。

表8-9-9 昆虫類の確認状況（目別確認状況）

目名	科数	種数
トビムシ	5	5
トンボ	8	27
ゴキブリ	1	1
カマキリ	1	4
バッタ	14	43
ハサミムシ	1	1
チャタテムシ	1	1
アザミウマ	1	1
カメムシ	40	115
アミメカゲロウ	2	4
コウチュウ	45	285
ハチ	19	85
シリアゲムシ	1	1
ハエ	24	53
トビケラ	1	1
チョウ	28	156
合計 16目	192科	783種

ク. クモ類

現地調査の結果、表8-9-10に示すとおり、15科78種のクモ類が確認された。

表8-9-10 (1) クモ類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期		
					春	夏	秋
1	クモ	タマゴグモ	ダニグモ	<i>Gamasomorpha cataphracta</i>			○
2		ヒメグモ	カグヤヒメグモ	<i>Achaearanea culicivora</i>	○		
3			ヒメグモ	<i>Achaearanea japonica</i>		○	
4			オオヒメグモ	<i>Achaearanea tepidariorum</i>	○		
5			アシプトヒメグモ	<i>Anelosimus crassipes</i>	○		
6			シロカネイソウロウグモ	<i>Argyrodes bonadea</i>	○		○
7			オナガグモ	<i>Argyrodes cylindrogaster</i>	○	○	○
8			ヨツコブヒメグモ	<i>Chrosiothes sudabides</i>		○	
9			ヒシガタグモ	<i>Episinus affinis</i>	○		
10			サラグモ	ヌカグモ	<i>Tmeticus japonicus</i>	○	
11		センショウグモ	ハラビロセンショウグモ	<i>Mimetus japonicus</i>	○		○
12		コガネグモ	アオオニグモ	<i>Araneus pentagrammicus</i>			○
13			コゲチャオニグモ	<i>Araneus punctiger</i>			○
14			オニグモ	<i>Araneus ventricosus</i>	○	○	○
15			ムツボシオニグモ	<i>Araniella yaginumai</i>	○		
16			コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>	○	○	
17			ナガコガネグモ	<i>Argiope bruennichii</i>		○	○
18			ギンナガゴミグモ	<i>Cyclosa ginnaga</i>		○	
19			ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>	○		
20			シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i>		○	
21			シロスジショウジョウグモ	<i>Hypsosinga sanguinea</i>	○		
22			コガネグモダマシ	<i>Larinia argiopiformis</i>		○	○
23			ドヨウオニグモ	<i>Neoscona adianta</i>	○	○	○
24			ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona mellottei</i>			○
25			ヤマシロオニグモ	<i>Neoscona scylla</i>	○	○	○
26			サツマノミダマシ	<i>Neoscona scylloides</i>		○	
27			ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>		○	○
28			ゲホウグモ	<i>Poltys illepidus</i>		○	
29		アシナガグモ	チュウガタシロカネグモ	<i>Leucauge blanda</i>	○	○	○
30			トガリアシナガグモ	<i>Tetragnatha caudicula</i>	○	○	○
31			ヤサガタアシナガグモ	<i>Tetragnatha maxillosa</i>		○	
32			アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>	○	○	○
33			ウロコアシナガグモ	<i>Tetragnatha squamata</i>	○	○	○
34	タナグモ	クサグモ	<i>Agelena limbata</i>		○	○	
35		コクサグモ	<i>Agelena opulenta</i>		○	○	
36		ヤマヤチグモ	<i>Coelotes corasides</i>	○	○	○	
37		シモフリヤチグモ	<i>Coelotes insidiosus</i>	○		○	
38	キンダグモ	スジプトハシリグモ	<i>Dolomedes pallitarsis</i>	○	○		
39		イオウイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>	○	○	○	
40		ハヤテグモ	<i>Peranthis fascigera</i>		○		
41		アズマキンダグモ	<i>Pisaura lama</i>	○		○	

表8-9-10 (2) クモ類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期		
					春	夏	秋
42	クモ	コモリグモ	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>	○		
43			ウヅキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>		○	
44			ハリゲコモリグモ	<i>Pardosa laura</i>	○		○
45			キクヅキコモリグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i>		○	
46			クラークコモリグモ	<i>Pirata clercki</i>	○		
47			アライトコモリグモ	<i>Trochosa ruricola</i>	○		
48			ササグモ	ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>	○	○
49	フクログモ	カバキコマチグモ	カバキコマチグモ	<i>Chiracanthium japonicum</i>	○		
50			ヤマトコマチグモ	<i>Chiracanthium lascivum</i>	○	○	○
51			ヤマトフクログモ	<i>Clubiona japonica</i>	○	○	
52			ハマキフクログモ	<i>Clubiona japonicola</i>	○	○	
53			ヤハズフクログモ	<i>Clubiona jucunda</i>	○		
54			トビイロフクログモ	<i>Clubiona lena</i>	○		
55			イタチグモ	<i>Itasina praticola</i>	○		
56	ワシグモ	クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i>	○			
57	カニグモ	キハダカニグモ	キハダカニグモ	<i>Bassaniana decorata</i>		○	
58			コハナグモ	<i>Diaea subcola</i>	○		
59			ハナグモ	<i>Misumenops tricuspidatus</i>	○	○	○
60			ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>		○	
61			アズチグモ	<i>Thomisus labefactus</i>		○	○
62			ヤミイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>	○		
63			チュウカカニグモ	<i>Xysticus ephippiatus</i>	○	○	○
64	エビグモ	キンイロエビグモ	キンイロエビグモ	<i>Philodromus auricomus</i>	○		○
65			アサヒエビグモ	<i>Philodromu subaureolus</i>	○		○
66			ヤドカリグモ	<i>Thanatus miniaceus</i>			○
67	ハエトリグモ	ネコハエトリ	ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>	○		
68			マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>	○	○	○
69			ヤハズハエトリ	<i>Marpissa elongata</i>		○	○
70			オスクロハエトリ	<i>Marpissa magister</i>	○	○	○
71			ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>	○		
72			ヤサアリグモ	<i>Myrmarachne inermichelis</i>			○
73			アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>	○	○	○
74			クワガタアリグモ	<i>Myrmarachne kuwagata</i>		○	
75			デーニッツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>	○	○	○
76			ミスジハエトリ	<i>Plexippus setipes</i>	○	○	○
77			カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>	○		
78			アオオビハエトリ	<i>Silerella vittata</i>	○	○	○
合計	1目	15科	78種		52種	44種	40種

備考) 種名と分類は「日本産野生生物目録 無脊椎動物編 I」(1993年、環境庁)に準拠した。



ケ. 陸産貝類

現地調査の結果、表8-9-11に示すとおり、2目10科24種の陸産貝類が確認された。

表8-9-11 陸産貝類の確認状況

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期		
					春	夏	秋
1	ニナ(中腹足)	カワザンショウガイ	ウスイロオカチグサガイ	<i>Paludinassiminea debilis</i>	○		
2	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau tau</i>	○	○	○
3			ウスベニギセル	<i>Tyrannophaedusa aurantiaca</i>	○	○	○
—			キセルガイ科の一種	Clausiliidae	○		○
4	オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>	○	○	○
5			トクサオカチョウジガイ	<i>Allopeas javanicum</i>	○	○	○
6			ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrgula</i>	○	○	
—			オカチョウジガイ属の一種	<i>Allopeas</i> sp.	○		○
7	ナメクジ	ナメクジ	<i>Meghimatium bilineatum</i>		○	○	
8	オカモノアラガイ	ヒメオカモノアラガイ	ヒメオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea horticola</i>	○	○	
9			ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>	○		
—			オカモノアラガイ科の一種	Succineidae	○	○	
10	ベッコウマイマイ	マルシタラガイ	マルシタラガイ	<i>Parasitala reinhardti</i>	○	○	○
11			カサキビ	<i>Trochochlamys crenulata crenulata</i>	○		
12			ウラジロベッコウ	<i>Urazirochlamys doenitzii</i>			○
13			オオクラヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys lampra</i>	○	○	
14	コウラナメクジ	チャコウラナメクジ	<i>Limax marginatus</i>	○	○	○	
15	コハクガイ	コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>	○		○	
16	ニッポンマイマイ	ピロウドマイマイ属の一種	ニッポンマイマイ属の一種	<i>Nipponochloritis</i> sp.	○		
17			ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica japonica</i>	○	○	○
18	オナジマイマイ	ウスカワマイマイ	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>	○	○	○
19			オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga vulgivaga</i>	○	○	○
20			オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>	○	○	○
21			イセノナミマイマイ	<i>Euhadra eoa communisiformis</i>	○	○	○
—			マイマイ属の一種	<i>Euhadra</i> sp.	○	○	○
22			マメマイマイ	<i>Trishoplita commoda commoda</i>	○		○
23			エンドウマイマイ	<i>Trishoplita commoda endo</i>	○	○	○
24			オトメマイマイ	<i>Trishoplita goodwini</i>	○		
合計	2目	10科	24種 <sup>注)</sup>		22種	16種	16種

備考) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 11 年度河川版」(2000 年、国土交通省)に準拠した。

注) 「~属の一種」及び「~科の一種」のうち、同属及び同科が確認されている場合は、種数に含んでいない。

## コ. 底生動物

現地調査の結果、表8-9-12に示すとおり、12綱37目94科175種の底生動物が確認された。

表8-9-12 (1) 底生動物の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期					
						冬	早春	夏			
1	花虫	イソギンチャク	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	<i>Haliplanella lineata</i>	○	○	○			
—			—	イソギンチャク目の一種	<i>Actiniaria</i> sp.	○		○			
2	渦虫	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ	<i>Girardia tigrina</i>	○	○				
—			—	サンカクアタマウズムシ科の一種	<i>Dugesiiidae</i> sp.	○	○	○			
3			ヒラムシ	—	ヒラムシ目の一種	<i>Polycladida</i> sp.	○	○	○		
4	無針	ヒモムシ	リネウス	リネウス科の一種	<i>Lineidae</i> sp.			○			
5	有針	ハリヒモムシ	—	ハリヒモムシ目の一種	<i>Hoploneurtea</i> sp.	○	○	○			
—	—	—	—	紐形動物門の一種	<i>NEMERTINEA</i> sp.	○	○				
6	腹足	アマオブネガイ	アマオブネガイ	イシマキガイ	<i>Clithon retropicta</i>	○	○	○			
7				—	ヒロクチカノコガイ	<i>Neritina cornucopia</i>	○	○	○		
8		原始紐舌	タニシ	オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>		○	○			
9				—	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata historica</i>	○	○			
10		盤足	カワニナ	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	○	○	○			
11				—	ウミニナ	ホソウミニナ	<i>Batillaria cumingii</i>	○	○		
12				—	—	ウミニナ	<i>Batillaria multiformis</i>		○		
13				—	フトヘナタリ	フトヘナタリガイ	<i>Cerithidea rhizophorarum rhizophorarum</i>		○	○	
14				—	タマキビ	アラレタマキビガイ	<i>Nodilittorina radiata</i>	○			
15				—		—	タマキビガイ	<i>Littorina brevicula</i>	○	○	○
16				—	サザナミツボ	サザナミツボ	<i>Elachisina ziczac</i>		○		
17				—	カワグチツボ	カワグチツボ	<i>Iravadia elegantula</i>	○	○	○	
18				—		—	ワカウラツボ	<i>Iravadia sakaguchii</i>			○
19				—	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウガイ	<i>Angustassiminea castanea</i>	○	○	○	
20				—		—	ムシヤドリカワザンショウガイ	<i>Assiminea parasitologica</i>			○
—				—		—	カワザンショウガイ属の一種	<i>Assiminea</i> sp.	○	○	○
21				—	ミズゴマツボ	ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	○	○	○	
22		—	新腹足	ムシロガイ	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>	○	○			
23		基眼	カワコザラガイ	カワコザラガイ	カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>			○		
24				—	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ	<i>Lymnaea truncatula</i>			○	
25	—			—	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>	○	○	○		
—	—			—	モノアラガイ科の一種	<i>Lymnaeidae</i> sp.			○		
26	—			—	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	○	○	○		
27	二枚貝	イガイ	イガイ	ホトトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>		○	○			
28				—	—	コウロエンカワヒバリガイ	<i>Xenostrobus securis</i>	○	○	○	

表8-9-12 (2) 底生動物の確認状況

No.	網名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						冬	早春	夏	
29	二枚貝	カキ	イタボガキ	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	○	○	○	
30		イシガイ	イシガイ	ドブガイ属の一種	<i>Anodonta</i> sp.		○		
31		マルスダレガイ	カワホトトギス	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>		○	○	
32			フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ	<i>Trapezium liratum</i>	○	○	○	
33			シジミ		ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	○	○	○
—					シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.	○	○	○
34			ドブシジミ	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>	○			
35			マルスダレガイ		オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	○	○	○
36					アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○	○
37		オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>		○		
38		ウミタケガイ モドキ	オキナガイ	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	○	○	○	
39		ゴカイ	サシバゴカイ	サシバゴカイ	<i>Eteone</i> 属の一種	<i>Eteone</i> sp.	○	○	
40				ゴカイ		カワゴカイ属の一種	<i>Hediste</i> sp.	○	○
41	アシナガゴカイ					<i>Neanthes succinea</i>	○	○	
42	ヒゲブトゴカイ					<i>Nereis heterocirrata</i>	○		
43	スナイソゴカイ					<i>Perinereis nuntia brevicirris</i>		○	
44	イトメ					<i>Tylorrhynchus osawai</i>		○	○
45	スピオ					スピオ	<i>Polydora</i> 属の一種	<i>Polydora</i> sp.	○
46			ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonicus</i>	○		○	○	
47			<i>Pseudopolydora</i> 属の一種	<i>Pseudopolydora</i> sp.	○		○	○	
48			ホソエリタテスピオ	<i>Streblospio benedicti japonica</i>	○				
49	イトゴカイ		イトゴカイ	<i>Capitella</i> 属の一種	<i>Capitella</i> sp.	○		○	
50				<i>Heteromastus</i> 属の一種	<i>Heteromastus</i> sp.	○	○	○	
51				<i>Notomastus</i> 属の一種	<i>Notomastus</i> sp.	○	○	○	
52	ミミズ		ナガミミズ	ナガミミズ	ナガミミズ科の一種	<i>Haplotaxidae</i> sp.		○	
53			オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科の一種	<i>Lumbriculidae</i> sp.	○	○	○
54		イトミミズ	ヒメミミズ	ヒメミミズ科の一種	<i>Enchytraeidae</i> sp.		○		
55				エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>	○	○	○	
56				モトムラユリミミズ	<i>Limnodrilus claparedianus</i>	○	○		
57				ユリミミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>	○	○	○	
58				<i>Nais</i> 属の一種	<i>Nais</i> sp.	○	○	○	
59				クロオビミズミミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>	○	○	○	
60				<i>Stylaria</i> 属の一種	<i>Stylaria</i> sp.	○			
—				イトミミズ科の一種	<i>Tubificidae</i> sp.	○	○	○	
61		ツリミミズ	フトミミズ	フトミミズ科の一種	<i>Megascolecidae</i> sp.	○		○	
—		—	—	ミミズ綱の一種	<i>Oligochaeta</i> sp.	○	○	○	
62		ヒル	吻蛭	グロシフォニ	ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>	○	○	○
—	グロシフォニ科の一種			<i>Glossiphoniidae</i> sp.		○	○		

表8-9-12 (3) 底生動物の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						冬	早春	夏	
63	ヒル	無吻蛭	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>			○	
64				ナマイシビル	<i>Erpobdella octoculata</i>	○	○	○	
—				イシビル科の一種	<i>Erpobdellidae</i> sp.	○	○	○	
65	がっきやく 顎脚	フジツボ	フジツボ	シロスジフジツボ	<i>Balanus albicostatus</i>	○	○	○	
66				タテジマフジツボ	<i>Balanus amphitrite</i>	○	○	○	
67				アメリカフジツボ	<i>Balanus eburneus</i>	○	○	○	
68				ヨーロッパフジツボ	<i>Balanus improvisus</i>	○	○	○	
69				ドロフジツボ	<i>Balanus kondakovi</i>	○	○	○	
70	軟甲	タナイス	タナイス	キシタナイス	<i>Sinelobus stanfordi</i>	○	○	○	
71		クーマ	シロクーマ	ヒヌマニッポンシロクーマ	<i>Nippoleucon hinumensis</i>	○	○		
72		ヨコエビ	ヒゲナガヨコエビ	ヒゲナガヨコエビ	<i>Ampithoe</i> 属の一種	<i>Ampithoe</i> sp.	○		○
73				ユンボヨコエビ	ニッポンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	○	○	○
74				ドロクダムシ	トンガリドロクダムシ	<i>Corophium insidiosum</i>		○	
75					タイリクドロクダムシ	<i>Corophium sinensis</i>		○	
76					ウエノドロクダムシ	<i>Corophium uenoi</i>	○	○	○
77				マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>	○		○
78				メリタヨコエビ	ヒゲツノメリタヨコエビ	<i>Melita setiflagella</i>	○		○
—					<i>Melita</i> 属の一種	<i>Melita</i> sp.	○	○	○
79				モクズヨコエビ	フサグモクズ	<i>Allorchestes plumicornis</i>	○	○	
80					<i>Hyalae</i> 属の一種	<i>Hyalae</i> sp.			○
81		ハマトビムシ	<i>Parorchestia</i> 属の一種	<i>Parorchestia</i> sp.	○				
82		ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>	○	○	○	
83			コツブムシ	イソコツブムシ属の一種	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	○	○	○	
84			フナムシ	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>		○	○	
85		エビ	ヌマエビ	ミゾレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i>	○	○	○	
—				ヒメヌマエビ属の一種	<i>Caridina</i> sp.		○		
86				ミナミヌマエビ	<i>Neocaridina denticulata</i>		○		
87			テナガエビ	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientis</i>		○		
88	テナガエビ			<i>Macrobrachium nipponense</i>	○	○	○		
89	ユビナガスジエビ			<i>Palaemon macrodactylus</i>	○	○	○		
90	スジエビ			<i>Palaemon paucidens</i>	○	○	○		
—	スジエビ属の一種			<i>Palaemon</i> sp.			○		
91	エビジャコ		エビジャコ属の一種	<i>Crangon</i> sp.		○	○		
92	アメリカザリガニ		アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○	○	○		
93	ホンヤドカリ		ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>		○	○		
94	ハサミシャコエビ		ハサミシャコエビ	<i>Laomedia astacina</i>		○	○		
95	コブシガニ		マメコブシガニ	<i>Philyra pisum</i>			○		
96	ワタリガニ		チチュウカイミドリガニ	<i>Carcinus mediterraneus</i>			○		
97			<i>Panopeidae</i>	ミナトオウギガニ	<i>Rhithropanopeus harrisi</i>			○	

表8-9-12 (4) 底生動物の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						冬	早春	夏	
98	軟甲	エビ	ムツハアリアケガニ	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	○	○	○	
99			コメツキガニ	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	○	○	○	
100				コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>			○	
101			オサガニ	ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>		○	○	
102			ベンケイガニ	クロベンケイガニ	<i>Chiromantes dehaani</i>		○	○	
103					アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>			○
104					アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>			○
105					ユビアカベンケイガニ	<i>Parasesarma eacis</i>			○
106					クシテガニ	<i>Parasesarma plicatum</i>	○	○	○
107				ベンケイガニ	<i>Sesarmops intermedium</i>			○	
108			モクズガニ	モクズガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	○	○	○	
109		タカノケフサイソガニ		<i>Hemigrapsus takanoi</i>	○	○	○		
110	昆虫	カゲロウ (蜉蝣)	コカゲロウ	サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	○		○	
111				フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	○	○		
—				コカゲロウ属の一種	<i>Baetis</i> sp.	○	○	○	
112				フタバカゲロウ属の一種	<i>Cloeon</i> sp.		○		
113				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>			○	
114				Hコカゲロウ	<i>Tenuibaetis</i> sp. H	○	○	○	
—				コカゲロウ科の一種	<i>Baetidae</i> sp.		○	○	
115			トンボ (蜻蛉)	アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>			○
—					アオイトトンボ属の一種	<i>Lestes</i> sp.			○
116		イトトンボ		アオモンイトトンボ属の一種	<i>Ischnura</i> sp.	○	○		
117					クロイトトンボ属の一種	<i>Paracercion</i> sp.	○	○	○
—				イトトンボ科の一種	<i>Coenagrionidae</i> sp.	○	○	○	
118	モノサシトンボ	モノサシトンボ		<i>Copera annulata</i>	○				
119	カワトンボ	アオハダトンボ属の一種		<i>Calopteryx</i> sp.	○	○	○		
120	ヤンマ	ギンヤンマ		<i>Anax parthenope julius</i>	○				
121				カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>			○	
122	サナエトンボ	ウチワヤンマ		<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	○	○	○		
123	エゾトンボ	エゾトンボ属の一種		<i>Somatochlora</i> sp.		○			
124	トンボ	ショウジョウトンボ		<i>Crocothemis servilia mariannae</i>	○		○		
125				コフキトンボ	<i>Deilelia phaon</i>		○	○	
126				シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	○	○	○	
127				コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>	○	○	○	
128			アカネ属の一種	<i>Sympetrum</i> sp.			○		
129	カメムシ (半翅)	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○		○		
—				アメンボ亜科の一種	<i>Gerrinae</i> sp.			○	
130		ミズムシ	クロチビミズムシ	<i>Micronecta orientalis</i>	○	○			
131			ハイイロチビミズムシ	<i>Micronecta sahlbergii</i>			○		

表8-9-12 (5) 底生動物の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						冬	早春	夏	
—	昆虫	カメムシ (半翅)	ミズムシ	チビミズムシ属の一種	<i>Micronecta</i> sp.			○	
132				コミズムシ属の一種	<i>Sigara</i> sp.	○	○	○	
133			コオイムシ	コオイムシ属の一種	<i>Appasus</i> sp.			○	
134			マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>	○		○	
135		トビケラ (毛翅)	ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ	<i>Ecnomus tenellus</i>		○	○	
136				シマトビケラ	コガタシマトビケラ属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.	○	○	○
137				クダトビケラ	クダトビケラ属の一種	<i>Psychomyia</i> sp.	○	○	
138				ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.	○		○
139				エグリトビケラ	キリバネトビケラ属の一種	<i>Limnephilus</i> sp.		○	
—				エグリトビケラ科の一種	Limnephilidae sp.	○	○		
—		—	トビケラ目の一種(毛翅目の一種)	Trichoptera sp.			○		
140		ハエ(双翅)	ガガンボ	ウスバガガンボ属の一種	<i>Antocha</i> sp.	○	○		
141				ガガンボ属の一種	<i>Tipula</i> sp.	○	○	○	
—	ヒメガガンボ亜科の一種			<i>Limoniinae</i> sp.	○				
142	チョウバエ		Psychoda属の一種	<i>Psychoda</i> sp.	○	○			
143			Telmatoscops属の一種	<i>Telmatoscops</i> sp.		○			
144	ヌカカ		ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae sp.	○	○			
145	ユスリカ		セスジユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>		○			
146			ユスリカ属の一種	<i>Chironomus</i> sp.	○	○	○		
147			エダゲヒゲユスリカ属の一種	<i>Cladotanytarsus</i> sp.			○		
148			ホソミユスリカ属の一種	<i>Dicrotendipes</i> sp.	○		○		
149			セボリユスリカ属の一種	<i>Glyptotendipes</i> sp.	○	○	○		
150			コブナシユスリカ属の一種	<i>Harnischia</i> sp.			○		
151			ミナミユスリカ属の一種	<i>Nilodorum</i> sp.	○	○			
152			ニセヒゲユスリカ属の一種	<i>Paratanytarsus</i> sp.	○				
153			カワリユスリカ属の一種	<i>Paratendipes</i> sp.	○	○			
154			ハモンユスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.	○	○	○		
155			カモヤマユスリカ	<i>Potthastia longimana</i>		○			
156			アカムシユスリカ	<i>Propilocerus akamusi</i>	○	○			
157			ナガレユスリカ属の一種	<i>Rheotanytarsus</i> sp.	○	○	○		
158			アシマダラユスリカ属の一種	<i>Stictochironomus</i> sp.	○	○	○		
159			ヒゲユスリカ属の一種	<i>Tanytarsus</i> sp.	○	○	○		
160			イソユスリカ属の一種	<i>Telmatogeton</i> sp.	○		○		
161			ヌカユスリカ属の一種	<i>Thienemanniella</i> sp.		○			
—			ユスリカ亜科の一種(ユスリカ属の一種)	Chironominae(Chironomini) sp.		○	○		
—			ユスリカ亜科の一種(ヒゲユスリカ属の一種)	Chironominae(Tanytarsini) sp.		○			
—			エリユスリカ亜科の一種	Orthoclaadiinae sp.	○	○	○		
162			モンユスリカ亜科の一種	Tanypodinae sp.	○	○	○		
—			ユスリカ科の一種	Chironomidae sp.	○	○	○		

表8-9-12 (6) 底生動物の確認状況

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	調査時期			
						冬	早春	夏	
163	昆虫	ハエ(双翅)	フサカ	フサカ科の一種	<i>Chaoboridae</i> sp.	○	○	○	
164			ブユ	アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.	○	○	○	
—				ブユ科の一種	<i>Simuliidae</i> sp.			○	
165			アシナガバエ	アシナガバエ科の一種	<i>Dolichopodidae</i> sp.	○	○		
—			—	ハエ目の一種(双翅目の一種)	<i>Diptera</i> sp.	○	○	○	
166		コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>			○	
167				ツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus difficilis</i>		○		
168				ルイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i>			○	
169				ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>	○			
—				ツブゲンゴロウ亜科の一種	<i>Laccophilinae</i> sp.			○	
170	ガムシ			タマガムシ	<i>Amphiops mater mater</i>			○	
171			セマルガムシ	<i>Coelostoma stultum</i>			○		
172			キヒロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>			○		
173			コガムシ属の一種	<i>Hydrochara</i> sp.			○		
174	ヒメドロムシ		ヒメドロムシ亜科の一種	<i>Elminae</i> sp.		○			
175	ヒラタドロムシ		ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>	○				
合計	12綱		37目	94科	175種 <sup>(注)</sup>		113種	123種	124種

備考) 種名と分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(2010年、国土交通省)に準拠した。

注) 「～属(科、亜科、目)の一種」のうち、同属(科、亜科、目)が確認されている場合は、種数に含んでいない。

## b) 重要な種等の状況

## ア. 重要な種の選定基準

動物の重要な種の選定基準は、表8-9-13に示すとおりである。

表8-9-13 重要な種の選定基準（動物）

選定基準	カテゴリー（カッコは略号）
①「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）、「愛知県文化財保護条例」（昭和30年4月1日愛知県条例第6号）により指定されているもの ※東海市・知多市・常滑市において、動物に係る天然記念物は指定されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物（天然）</li> <li>・特別天然記念物（特天）</li> </ul>
②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）により指定されているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内希少野生動植物種（国内）</li> <li>・国際希少野生動植物種（国際）</li> </ul>
③哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物：「環境省第4次レッドリスト」（平成24年、環境省） 「汽水・淡水魚類レッドリスト」（平成19年、環境省）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅（EX）</li> <li>・野生絶滅（EW）</li> <li>・絶滅危惧IA類（CR）</li> <li>・絶滅危惧IB類（EN）</li> <li>・絶滅危惧II類（VU）</li> <li>・準絶滅危惧（NT）</li> <li>・情報不足（DD）</li> <li>・絶滅のおそれのある地域個体群（LP）</li> </ul>
④「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち2009 動物編」（平成21年、愛知県）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県指定希少野生動植物種</li> <li>※現地調査の結果、該当する動物は確認されていない。</li> </ul>
⑤「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和48年3月30日愛知県条例第3号）により指定されているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県指定希少野生動植物種</li> <li>※現地調査の結果、該当する動物は確認されていない。</li> </ul>



イ. 重要な種

現地調査の結果、表8-9-14に示すとおり、62種の重要な種が確認された。  
 現地調査における確認位置は、重要な種の保全の観点から示していない。  
 なお、注目すべき生息地は確認されなかった。

表8-9-14(1) 現地調査により確認された重要な種（動物）

No.	分類	目名	科名	種名	重要種選定基準					
					保護法	保存法	レッド	愛知		
1	哺乳類	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ				VU		
2			イタチ	テン				NT		
3	鳥類	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ			NT	EN		
4				チュウサギ			NT			
5				カモ	カモ	ヒシクイ	天然		VU	
6						オシドリ			DD	
7		タカ	タカ	ミサゴ			NT	NT		
8				ハチクマ			NT	VU		
9				オオタカ		国内	NT	NT		
10				ツミ				NT		
11				ハイタカ				NT		
12				サシバ				VU	VU	
13				ハイイロチュウヒ					NT	
14				ハヤブサ	ハヤブサ		国内	VU	EN	
15				ツル	クイナ	クイナ				NT
16						ヒクイナ			NT	VU
17		タマシギ	タマシギ					VU	VU	
18		チドリ	チドリ	イカルチドリ				VU		
19				ケリ			DD			
20			シギ	ウズラシギ	ウズラシギ				VU	
21					タカブシギ			VU	VU	
22					ヤマシギ				NT	
23	カモメ		コアジサシ		国際	VU	NT			
24	フクロウ		フクロウ	オオコノハズク				NT		
25	スズメ	ツグミ	クロツグミ				NT			
26		ホオジロ	ホオアカ				VU			
27	爬虫類	カメ	イシガメ	イシガメ			NT			
28	両生類	カエル	アカガエル	トノサマガエル			NT			
29				ナゴヤダルマガエル			EN	VU		
30				ツチガエル					DD	

表8-9-14(2) 現地調査により確認された重要な種（動物）

No.	分類	目名	科名	種名	重要種選定基準			
					保護法	保存法	レッド	愛知
31	魚類	ウナギ	ウナギ	ウナギ			DD	
32		ダツ	メダカ	メダカ			VU	NT
33		スズキ	ハゼ	トビハゼ			NT	注1)
34				マサゴハゼ			VU	注1)
35	昆虫類	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ			NT	
36			ミズムシ	ミヤケミズムシ			NT	
37		コウチュウ	ゲンゴロウ	コマルケシゲンゴロウ			NT	
38				ルイスツブゲンゴロウ			VU	
39			ガムシ	コガムシ			DD	
40			ハムシ	キオビクビボソハムシ				DD
41		ハチ	ベッコウバチ	フタモンベッコウ			NT	
42			スズメバチ	ヤマトアシナガバチ			DD	
43			アナバチ	アカオビケラトリ			NT	
44		クモ類	クモ	コガネグモ	コガネグモ			
45	シロオビトリノフンダマシ						VU	
46	ゲホウグモ							NT
47	貝類	アマオブネガイ	アマオブネガイ	ヒロクチカノコガイ			NT	VU
48		げんしちようぜつ 原始紐舌	タニシ	オオタニシ			NT	
49		ばんそく 盤足	ウミニナ	ウミニナ			NT	NT
50			フトヘナタリ	フトヘナタリガイ			NT	NT
51			サザナミツボ	サザナミツボ			NT	DD
52			カワグチツボ	カワグチツボ			NT	NT
53				ワカウラツボ			VU	VU
54			カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウガイ			NT	NT
55				ムシヤドリカワザンショウガイ			NT	NT
56			ミズゴマツボ	ウミゴマツボ			NT	NT
57		きがん 基眼	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ <sup>注2)</sup>			DD	
58		まいまい(柄眼) へいがん	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ			NT	NT
59		マルスダレガイ	フナガタガイ	ウネナシトマヤガイ			NT	
60			シジミ	ヤマトシジミ			NT	
61	オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ			NT	NT	
62	ウミタケガイモドキ	オキナガイ	ソトオリガイ				NT	

備考) 保護法：表8-9-13の選定基準①、保存法：表8-9-13の選定基準②、レッド：表8-9-13の選定基準③、  
愛知：表8-9-13の選定基準④

注1) 「レッドデータブックあいち2009」において、汽水域に生息する魚類は評価対象とされていない。

2) コシダカヒメモノアラガイは、「愛知県の移入動植物—ブルーデータブックあいち2012」（2012年、愛知県移入種データブック検討会（編））において移入種とされている。